

**沖縄で「アートを活用した防災・教育・多文化共生・地域コミュニティの実践」を考える
～6月30日 全国から実践者が集い、公開ラウンドテーブルを開催～**

国際交流基金（JF）は、沖縄県那覇市において、公開ラウンドテーブル「アートからひらくコミュニケーション—地球市民活動の事例から」を開催します。

「アートを活用した国際交流活動」に注目し、多彩な社会領域をつなぐアートを活動手法に組み込みながら、防災・教育・多文化共生・地域コミュニティをテーマとする実践者をスピーカーに迎えます。スピーカーは、JF が 1985 年から実施している「国際交流基金地球市民賞」の受賞者です。また、沖縄の文化芸術振興に取り組む沖縄アーツカウンシルからもご登壇いただきます。

地球規模で考え、地域で行動する「地球市民」が、今日も全国各地でさまざまな課題や価値創造に取り組んでいます。これを機に、「地球市民活動」のコミュニケーションについて、参加者とともに考えます。



事業名称：国際交流基金（JF）地球市民賞 公開ラウンドテーブル アートからひらくコミュニケーション—地球市民活動の事例から

主催：国際交流基金（JF）

協力：特定非営利活動法人地域サポートわかさ

開催日程：2024年6月30日（日） 10時30分～16時

会場：那覇市若狭公民館 ホール（3階）沖縄県那覇市若狭 2-12-1

アクセス：<https://cs-wakasa.com/kouminkan/access/>

オンライン配信：Zoom ウェビナーにて配信 ※Zoom の ID 等は、開催日までにメールでお知らせします。

参加費：無料

プログラム：開場（10時）

主催者挨拶・趣旨説明（10時30分～10時40分）

第一部（10時40分～12時20分）

セッション①アート×地域コミュニティ スピーカー 宮城・森下・永田・上地・田村

セッション②アート×防災 スピーカー 永田・宮城・青木・上地・田村

第二部（14時～15時40分）

セッション③アート×多文化共生 スピーカー 青木・佐藤・森下・下山・具志・田村

セッション④アート×教育 スピーカー 青木・宮城・島袋・下山・具志・田村

総括（15時40分～15時55分）

JF 挨拶・公募案内（15時55分～16時）

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 広報部（広報担当：熊倉、小堤）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp

登壇者プロフィール ※各スピーカーがどのセッションに登壇するかは、以下の記号を参照ください。

地 地域コミュニティ
 防 防災
 多 多文化共生
 教 教育

スピーカー



事務局長 宮城 潤

地
防
教



職員 佐藤 純子

多

特定非営利活動法人地域サポートわかさ(沖縄県)
2022 年度地球市民賞受賞

団体概要

沖縄県那覇市若狭地域で住民主体のコミュニティ形成を担う NPO 法人。住民自治を尊重し、地域住民の自発的な活動を後押しする一方、アーティストとの協働などユニークな視点で企画する質の高いプログラムや細やかな情報発信に定評があり、全国的にも注目の存在。



特定非営利活動法人 アレッセ高岡(富山県)

2022 年度地球市民賞受賞

理事長 青木 由香 防 多 教

団体概要

外国ルーツの青少年が、日本とルーツ国の架け橋や地域社会の一員として活躍する人材となるよう、学習支援などの事業を推進する。地域のすべての人々が互いの違いを理解・尊重し、多様性を真に受けとめる市民となっていくような教育プログラムを展開している。



国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ実行委員会 (沖縄県)

2019 年度地球市民賞受賞

代表 下山 久 多 教

団体概要

ファミリーのための国際舞台芸術フェスティバル、通称「りっかりか＊フェスタ」を沖縄で運営。ナンバーバル（言葉を用いない）を中心とした作品によってお互いの違いを受容し認め合うことを目指し、毎回 10 か国前後の約 20 作品を上演している。

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 広報部（広報担当：熊倉、小堤）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp



特定非営利活動法人プラス・アーツ（兵庫県）

2014 年度地球市民賞受賞

理事長 永田 宏和 **地防**

団体概要

教育、まちづくり、防災、福祉、国際協力の分野にアートの発想や創造力を取り入れ、社会的課題の解決を目指し活動。「楽しく防災を学ぶ」プログラムを考案し、国内外でワークショップを展開している。



特定非営利活動法人アメラジアンスクール・イン・オキナワ（沖縄県）

2014 年度地球市民賞受賞

理事長 島袋 典子 **教**

団体概要

アメリカ人とアジア人の間に生まれたアメラジアンの子どもたちのため、バイリンガルでの教育機会を提供。また、日本とアメリカの伝統文化や歴史を学び、自らのアイデンティティの理解を深められるよう後押し。



一般財団法人たんぼぼの家（奈良県）

1994 年度地球市民賞受賞

理事 兼 Good Job! センター香芝センター長 森下 静香 **地多**

団体概要

障害がある人たちの芸術・文化の交流、アートを通じたアジアでのネットワーク形成を後押し。アートを通じた交流だけではなく、障害のある人と社会に新しい仕事を提案する「Good Job! Project」にも取り組む。

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 広報部（広報担当：熊倉、小堤）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp



チーフプログラムオフィサー

上地 里佳



プログラムオフィサー

具志 幸大



公益財団法人 沖縄県文化振興会
沖縄アーツカウンシル

団体概要

沖縄アーツカウンシルでは、沖縄県の文化芸術活動の持続的発展を図ることを目的に「沖縄文化芸術の創造発信支援事業」を実施。文化芸術を通じて、地域の諸課題解決や活性化の促進などに取り組む事業支援も行っている。

モデレーター



photo: 安田有里 ©Ko Na design

プロジェクト・コーディネーター

立教大学大学院 社会デザイン研究科特任教授

2023 年度地球市民賞選考委員

若林 朋子

略歴

1999～2013 年、企業メセナ協議会で PO（プログラムオフィサー）として企業が行う文化活動の推進と芸術支援の環境整備に従事。現在はフリーで事業コーディネート、企画開発、調査研究、NPO 支援などに取り組む。沖縄アーツカウンシル アドバイザーボード。

コメンテーター



一般財団法人ダイバーシティ研究所 代表理事

2023 年度地球市民賞選考委員

田村 太郎

略歴

阪神・淡路大震災での外国人被災者支援を機に、1995 年 10 月「多文化共生センター」を設立。地域における多文化共生の推進に従事。東日本大震災直後に内閣官房企画官に就任し、現在も復興庁・復興推進参与として東北復興にも携わる。総務省など国や地方自治体の多文化共生関連委員を歴任。共著に『多文化共生キーワード事典』『自治体施策とユニバーサルデザイン』などがある。

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 広報部（広報担当：熊倉、小堤）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp

国際交流基金 地球市民賞について

<https://www.jpff.go.jp/j/about/citizen/index.html>

1985年、全国各地で国際文化交流活動を通じて、日本と海外の市民同士の結びつきや連携を深め、互いの知恵やアイデア、情報を交換し、ともに考える団体を支援する賞として創設。これまでに121の団体等が受賞しています。国際交流基金（JF）では、現在、2024年度「国際交流基金 地球市民賞」の受賞候補団体の応募を受け付けています。本賞は、公益性の高い国際文化交流活動を行っている日本国内の団体を対象とし、地域に根差した活動を通じて日本と海外の市民同士の結びつきや連携を深め、互いの知恵やアイデアを交換し、ともに考える団体を応援するものです。自薦・他薦を問わずご応募いただけます。受賞団体は、有識者らによる審査を経て決まり、2025年1月中旬にJF公式ウェブサイトで発表します。

今年度の応募締め切りは、2024年7月26日（金）です。（※郵送の場合は当日消印有効）
応募ガイドライン <https://www.jpff.go.jp/j/about/citizen/guideline/index.html>

以上

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 広報部（広報担当：熊倉、小堤）
Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044
E-mail: press@jpff.go.jp